



# 光栄の森

平成24年1月 毎月1日発行 第43号

発行者 光栄プロテック 木之下

## 新年を迎えるにあたって



代表取締役 三田雅憲

12月は、非常にあわただしく仕事が入り、社員諸君には本当に感謝をしております。また影でささえていただいたご家族にも感謝しております。

さて、当社のこの1年を振り返り、一字で表すとすれば「忍」の字ではないかと思えます。まず、大きなクレームが起きました。解決したものもありますが、まだ年を越えて新年にまたがっていくものが2つあります。仕事に関しても前半後半をとおして厳しい内容が続きました。単価が厳しいものが多く、やれどもやれども数字があがらない、やり直しや手直しも多々ありました。納期遅延もありお客様に干される（仕事を出さない状態）ことも何度かありました。しかし、そういう中でも責任感をしっかりと持ち、ひたむきにがんばってくれた皆がいたから今こうして正月を迎えられるのだと思います。責任感の度合いは人によって多少違いはあります。しかし一人ひとりが主体性を持って責任感を十分に発揮すれば必ず良い結果がうまれるはずですし、その後には、どんどん仕事が待っていると思います。

「忍」から「任」になりやがて「人」になる。なんだか忍法みたいなことを言っておりますが、耐え忍んだあとには責任がうまれ、そういう人のあつまった強い会社になる。こんな気持ちで来年を迎えられるように社員及びご家族の皆様と共にがんばっていきましょう。



年始は1月5日より平常営業いたします。